

長崎県観光動向調査 (令和7年1～3月分)

●主要指標

令和7年1～3月

	対象施設	延べ宿泊客数 利用者数	R7-R6 同期比	
			増減率	増減数
主要宿泊施設	189	1,406千人	+7.0%	+92千人
主要観光施設	29	1,206千人	▲1.3%	▲16千人

	主要宿泊施設 客室稼働率	前年同期比 (ポイント)
1～3月累計	62.7%	+0.2
1月	53.9%	+0.4
2月	65.5%	+0.8
3月	68.5%	▲0.4

●概況

○主要な宿泊施設の宿泊客数は、大型複合施設長崎スタジアムシティでの県外からのスポーツ観戦者の増加や出島メッセでの大規模大会・学会の開催効果に加え、長崎～ソウル線の運航再開などにより韓国からの観光客が増加したことなどから、1月～3月期では前年同期比+7.0%と前年よりも増加した。

○主要観光施設の利用者数は、開館50周年関連イベントを開催中のグラバー園や、日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞を記念した企画展を開催した長崎原爆資料館などが好調であった一方で、1月から2月にかけて強い寒気の影響などがあり、対前年同期比では▲1.3%となった。

ブロック別の主な増減要因

【長崎・西彼ブロック】

大型複合施設長崎スタジアムシティでの県外からのスポーツ観戦者の増加や出島メッセでの大規模大会・学会の開催効果に加え、外国人観光客の増加がみられたことなどにより、対前年同期比+12.6%となった。

【佐世保・西海・東彼・北松ブロック】

韓国など外国人宿泊客は増加したものの、国内宿泊客が減少したことから、対前年同期比▲0.7%となった。

【平戸・松浦ブロック】

韓国からの団体客などが増加したものの、福岡などからの宿泊客の減少などにより、対前年同期比▲3.4%となった。

【諫早・大村ブロック】

ビジネス需要が堅調であったことや新規宿泊施設の効果などにより、対前年同期比+8.1%となった。

【島原半島ブロック】

強い寒気による積雪の影響などはあったものの、国内客を中心に宿泊客が増加したことなどから、対前年同期比+3.9%となった。

【五島ブロック】

関東・近畿からの宿泊客は増加が見られたが、悪天候等の影響などにより、対前年同期比▲3.1%となった。

【壱岐ブロック】

関東・近畿を中心とする国内からの宿泊客の増加などにより、対前年同期比+6.9%となった。

【対馬ブロック】

韓国からの宿泊客が引き続き増加傾向にあることから、対前年同期比+29.6%となった。

【参考】外国人観光客（宿泊客）の動向

長崎～ソウル線の運航再開などにより、韓国からの宿泊客が増加し、また中国やアメリカからの宿泊客も増加したことなどから、対前年同期比は+27.1%となった。

(参考資料)



